

国立大学法人東京農工大学大学院農学府教育規則の一部改正

国立大学法人東京農工大学大学院農学府教育規則を次のとおり改正する。

現 行	改 正	備 考
<p>国立大学法人東京農工大学大学院農学府教育規則</p> <p style="text-align: right;">平成16年4月7日 16農教規則第2号</p> <p>第1条～第2条 省略</p> <p>第3条 専攻ごとの教育研究分野又は講座、授業科目及び単位数等は、別表のとおりとする。 2～3 省略</p> <p>第4条 学生は、あらかじめ履修しようとする授業科目を所定の期間内に、当該授業科目の授業を担当する教員を経て農学府長（以下「学府長」という。）の承認を受けなければならない。 2 学生は、指導教員が教育上有益と認めるときは、本学の工学府、生物システム応用科学府、又は学部の授業科目（以下、この規則において学部の授業科目を「強化科目」という。）を履修することができる。この場合、授業担当教員を経て当該授業科目を開講する学府又は学部の長の承認を受けた上、所属する学府長の承認を受けなければならない。</p> <p>第5条～第10条 省略</p> <p>附則 省略</p> <p>別表（第3条関係）</p> <p>生物生産科学専攻 省略</p>	<p>第1条～第2条 省略（現行どおり）</p> <p>第3条 専攻ごとの教育研究分野、授業科目及び単位数等は、別表のとおりとする。 2～3 省略（現行どおり）</p> <p>第4条 学生は、あらかじめ履修しようとする授業科目を所定の期間内に、当該授業科目の授業を担当する教員を経て農学府長（以下「学府長」という。）の承認を受けなければならない。 2 学生は、指導教員が教育上有益と認めるときは、本学の<u>連合農学研究科</u>、工学府、生物システム応用科学府、又は学部の授業科目（以下、この規則において学部の授業科目を「強化科目」という。）を履修することができる。この場合、授業担当教員を経て当該授業科目を開講する学府又は学部の長の承認を受けた上、所属する学府長の承認を受けなければならない。</p> <p>第5条～第10条 省略</p> <p>附則 省略（現行どおり）</p> <p>別表（第3条関係）</p> <p>生物生産科学専攻 省略（現行どおり）</p>	
<p>共生持続社会学専攻</p>	<p>共生持続社会学専攻</p>	

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		共生持続社会学Ⅰ	○1	環境社会関係学	専門分野科目	環境法特論	2
		共生持続社会学Ⅱ	○1			地域共生特論	2
		共生持続社会学Ⅲ	○1			共生教育論	2
		共生持続社会学Ⅳ	○1			食育・食農教育論	2
		インターンシップ実習	○1			人口社会学	2
		比較共生社会論	○2			環境マネジメント論	2
		共生持続社会学特別講義	○1		環境社会関係学特別研究Ⅰ	2	
		共生環境科学特論Ⅰ	2		環境社会関係学特別研究Ⅱ	2	
		共生環境科学特論Ⅱ	2		環境社会関係学特別研究Ⅲ	2	
		共生環境科学特論Ⅲ	2		環境社会関係学特別研究Ⅳ	2	
		共生環境科学特論Ⅳ	2		環境社会関係学特別演習Ⅰ	2	
		共生環境科学特論Ⅴ	2		環境社会関係学特別演習Ⅱ	2	
		食糧環境科学特論Ⅰ	2		専門分野科目	共生農業・カンントリービジネス特論	2
		食糧環境科学特論Ⅱ	2			地域農業システム特論	2
		食糧環境科学特論Ⅲ	2			比較農業経営形態特論	2
		環境共生思想	2			食料関連産業特論	2
風土共生倫理学	2	食農マーケティング論	2				
環境生業文化史論	2	食糧環境経済学特別研究Ⅰ	2				
共生技術社会論	2	食糧環境経済学特別研究Ⅱ	2				
アニマル・ウェルフェア特論	2	食糧環境経済学特別研究Ⅲ	2				
ヒトと動物の共生心理学	2	食糧環境経済学特別研究Ⅳ	2				
共生人間学特別研究Ⅰ	2	食糧環境経済学特別演習Ⅰ	2				
共生人間学特別研究Ⅱ	2	食糧環境経済学特別演習Ⅱ	2				
共生人間学特別研究Ⅲ	2						
共生人間学特別研究Ⅳ	2						
共生人間学特別演習Ⅰ	2						
共生人間学特別演習Ⅱ	2						

備考 (1) 共通科目の○印の中から3単位以上修得すること。
(2) 学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。
(3) 他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から4単位以上修得すること。
(4) 強化科目は、4単位以内とする。

応用生命化学専攻～環境資源物質科学専攻 省略

物質循環環境科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		共生持続社会学	○1	共生人間学／環境社会関係学／食糧環境科学	論文研究等	共生持続社会学特別研究Ⅰ	2
		共生持続社会学特別講義Ⅰ	○1			共生持続社会学特別研究Ⅱ	2
		共生持続社会学特別講義Ⅱ	○1			共生持続社会学特別研究Ⅲ	2
		共生持続社会学特別講義Ⅲ	○1			共生持続社会学特別研究Ⅳ	2
		共生持続社会学特別講義Ⅳ	○1			共生持続社会学特別演習Ⅰ	2
		共生持続社会学特別講義Ⅴ	○1			共生持続社会学特別演習Ⅱ	2
		比較共生社会論	○2				
		インターンシップ実習	○1				
		共生環境科学特論Ⅰ	2				
		共生環境科学特論Ⅱ	2				
		共生環境科学特論Ⅲ	2				
		共生環境科学特論Ⅳ	2				
		共生環境科学特論Ⅴ	2				
		食糧環境科学特論Ⅰ	2				
		食糧環境科学特論Ⅱ	2				
		食糧環境科学特論Ⅲ	2				
共生人間学／環境社会関係学／食糧環境科学	専門分野科目	環境共生思想	2	備考	(1) 共通科目の○印の中から3単位以上修得すること。 (2) 専門分野科目については8単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。 (3) 強化科目は、4単位以内とする。	環境共生思想	2
		風土共生倫理学	2			風土共生倫理学	2
		環境生業文化史論	2			環境生業文化史論	2
		ヒトと動物の共生心理学	2			ヒトと動物の共生心理学	2
		共生教育論	2			共生教育論	2
		農村社会学特論	2			農村社会学特論	2
		アニマル・ウェルフェア特論	2			アニマル・ウェルフェア特論	2
		環境法特論	2			環境法特論	2
		国際関係学特論	2			国際関係学特論	2
		食育・食農教育論	2			食育・食農教育論	2
		環境経済学特論	2			環境経済学特論	2
		共生農業特論	2			共生農業特論	2
		地域農業システム特論	2			地域農業システム特論	2
		農業資源経済学特論	2			農業資源経済学特論	2
		食料関連産業特論	2			食料関連産業特論	2
		食農マーケティング論	2			食農マーケティング論	2

応用生命化学専攻～環境資源物質科学専攻 省略（現行どおり）

物質循環環境科学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		環境生物学特論	2	環境化学	専門分野科目	無機地球化学特論	2
		環境化学特論	2			有機地球化学特論	2
		国際研究プレゼンテーションⅠ	1			社会・生物地球化学特論	2
		国際研究プレゼンテーションⅡ	1			地球環境化学特論	2
環境生物学	専門分野科目	大気環境学特論	2		環境毒性学特論	2	
		環境微生物学特論	2		環境化学特別講義Ⅰ	0.5	
		環境ストレス植物学特論	2		環境化学特別講義Ⅱ	0.5	
		環境汚染生物学特論	2		環境化学特別講義Ⅲ	0.5	
		生物圏環境学特論	2		環境化学特別講義Ⅳ	0.5	
		環境生物学特別講義Ⅰ	0.5		環境化学特別実験Ⅰ	4	
		環境生物学特別講義Ⅱ	0.5		環境化学特別実験Ⅱ	4	
		環境生物学特別講義Ⅲ	0.5		環境化学研究報告演習Ⅰ	1	
		環境生物学特別講義Ⅳ	0.5		環境化学研究報告演習Ⅱ	1	
		環境生物学特別実験Ⅰ	4		環境化学英語論文講読演習Ⅰ	1	
		環境生物学特別実験Ⅱ	4		環境化学英語論文講読演習Ⅱ	1	
		論文研究等			環境生物学研究報告演習Ⅰ	1	論文研究等
環境生物学研究報告演習Ⅱ	1			環境生物学英語論文講読演習Ⅰ	1		
環境生物学英語論文講読演習Ⅰ	1			環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1		
環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1						

備考
 (1) 共通科目の中から5単位以上修得すること。
 (2) 学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。
 (3) 他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から3単位以上修得すること。
 (4) 強化科目は、4単位以内とする。

自然環境保全学専攻～農業環境工学専攻 省略

国際環境農学専攻

講座	科目区分	授業科目	単位数	講座	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		地域社会開発総論	2	国際地域開発学	専門分野科目	途上地域人口社会学	2
		国際農業技術論	2			環境農業協力論	2
		地球環境論	2			地域開発政策学	2
		異文化コミュニケーション学	2			国際開発協力論	2
		国際環境農学特論Ⅰ	2			国際環境農学コミュニケーション演習	1
		国際環境農学特論Ⅱ	2			国際地域開発学特別研究	6
国際環境修復学	専門分野科目	地域環境計画学	2		論文研究等	国際地域開発学演習	4
		環境修復保全学	2			国際環境農学課題別演習	1
		水利環境保全学	2			国際環境農学国内外実習	2
		水環境評価学	2			国際地域開発学特論	2
		国際環境農学コミュニケーション演習	1			国際地域開発学特別演習	2
		国際環境修復保全学特別研究	6			日本語科目	日本語コミュニケーションⅠ
論文研究等		国際環境修復保全学演習	4	日本語科目	日本語コミュニケーションⅡ	4	

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		環境生物学特論	2	環境化学	専門分野科目	生物圏物質循環学特論	2
		環境化学特論	2			有機地球化学特論	2
		国際研究プレゼンテーションⅠ	1			社会・生物地球化学特論	2
		国際研究プレゼンテーションⅡ	1			地球環境化学特論	2
環境生物学	専門分野科目	大気環境学特論	2		環境毒性学特論	2	
		環境微生物学特論	2		環境化学特別講義Ⅰ	0.5	
		環境植物学特論	2		環境化学特別講義Ⅱ	0.5	
		環境汚染生物学特論	2		環境化学特別講義Ⅲ	0.5	
		海洋環境生物学特論	2		環境化学特別講義Ⅳ	0.5	
		環境生物学特別講義Ⅰ	0.5		環境化学特別実験Ⅰ	4	
		環境生物学特別講義Ⅱ	0.5		環境化学特別実験Ⅱ	4	
		環境生物学特別講義Ⅲ	0.5		環境化学研究報告演習Ⅰ	1	
		環境生物学特別講義Ⅳ	0.5		環境化学研究報告演習Ⅱ	1	
		環境生物学特別実験Ⅰ	4		環境化学英語論文講読演習Ⅰ	1	
		環境生物学特別実験Ⅱ	4		環境化学英語論文講読演習Ⅱ	1	
		論文研究等			環境生物学研究報告演習Ⅰ	1	論文研究等
環境生物学研究報告演習Ⅱ	1			環境生物学英語論文講読演習Ⅰ	1		
環境生物学英語論文講読演習Ⅰ	1			環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1		
環境生物学英語論文講読演習Ⅱ	1						

備考
 (1) 共通科目の中から5単位以上修得すること。
 (2) 学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等については必修とする。
 (3) 他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から3単位以上修得すること。
 (4) 強化科目は、4単位以内とする。

自然環境保全学専攻～農業環境工学専攻 省略（現行どおり）

国際環境農学専攻

教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数	教育研究分野	科目区分	授業科目	単位数
共通科目		地域社会開発総論	2	国際地域開発学	専門分野科目	途上地域人口社会学	2
		国際農業技術論	2			環境農業協力論	2
		地球環境論	2			地域開発政策学	2
		異文化コミュニケーション学	2			国際開発協力論	2
		国際環境農学特論Ⅰ	2			国際環境農学コミュニケーション演習	1
		国際環境農学特論Ⅱ	2			国際地域開発学特別研究	6
国際環境修復学	専門分野科目	地域環境計画学	2		論文研究等	国際地域開発学演習	4
		環境修復保全学	2			国際環境農学課題別演習	1
		水利環境保全学	2			国際環境農学国内外実習	2
		水環境評価学	2			国際地域開発学特論	2
		国際環境農学コミュニケーション演習	1			国際地域開発学特別演習	2
		国際環境修復保全学特別研究	6			日本語科目	日本語コミュニケーションⅠ
論文研究等		国際環境修復保全学演習	4	日本語科目	日本語コミュニケーションⅡ	4	

国際環境修復保全学	専門分野科目	国際環境農学特論 I	2	国際地域開発学	論文研究等	国際開発協力論	2
		国際環境農学特論 II	2			国際環境農学コミュニケーション演習	1
		地域環境計画学	2			国際地域開発学特別研究	6
		環境修復保全学	2			国際環境農学演習	4
		水利環境保全学	2			国際環境農学課題別演習	1
	論文研究等	水環境評価学	2		国際環境農学国内外実習	2	
		国際環境農学コミュニケーション演習	1		日本語科目	国際地域開発学特論	2
		国際環境修復保全学特別研究	6			国際地域開発学特別演習	2
		国際環境修復保全学演習	4		日本語コミュニケーションI	6	
		国際環境農学課題別演習	1		日本語コミュニケーションII	4	
副専攻科目	国際環境農学国内外実習	2	備考 (1)学生は専修する講座以外に他の専攻の教育研究分野の中から1分野を副専攻として選択する。 (2)共通科目の中から6単位以上修得すること。 (3)学生が専修する講座に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等及び副専攻科目については必修とする。 (4)他の講座の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から2単位以上修得すること。 (5)日本語科目は留学生のみが履修することができるものとし、その修得単位数は、第3条第2項に規定する単位数に算入しない。				
	国際環境修復保全学特論	2					
	国際環境修復保全学特別演習	2					
国際生物生産資源学	専門分野科目	地域生物機能利用学					2
		地域持続生物生産技術学					2
		生物資源循環利用学					2
		生物新機能開発学					2
	論文研究等	国際環境農学コミュニケーション演習					1
国際生物生産資源学特別研究		6					
国際生物生産資源学演習		4					
国際環境農学課題別演習		1					
国際環境農学国内外実習		2					
副専攻科目	国際生物生産資源学特論	2					
	国際生物生産資源学特別演習	2					

別紙様式1 省略

国際環境修復保全学	専門分野科目	国際環境農学特論 I	2	国際地域開発学	論文研究等	国際環境農学コミュニケーション演習	1
		国際環境農学特論 II	2			国際環境農学コミュニケーション演習	1
		地域環境計画学	2			国際地域開発学特別研究	6
		環境修復保全学	2			国際環境農学演習	4
		水利環境保全学	2			国際環境農学課題別演習	1
	論文研究等	水環境評価学	2		国際環境農学国内外実習	2	
		国際環境農学コミュニケーション演習	1		日本語科目	国際地域開発学特論	2
		国際環境修復保全学特別研究	6			国際地域開発学特別演習	2
		国際環境修復保全学演習	4		日本語コミュニケーションI	6	
		国際環境農学課題別演習	1		日本語コミュニケーションII	4	
副専攻科目	国際環境農学国内外実習	2	備考 (1)学生は専修する講座教育研究分野以外に他の専攻の教育研究分野の中から1分野を副専攻として選択する。 (2)共通科目の中から6単位以上修得すること。 (3)学生が専修する教育研究分野に属する授業科目のうち、専門分野科目については6単位以上修得すること。論文研究等及び副専攻科目については必修とする。 (4)他の教育研究分野の授業科目及び他の専攻の授業科目の中から2単位以上修得すること。 (5)日本語科目は留学生のみが履修することができるものとし、その修得単位数は、第3条第2項に規定する単位数に算入しない。				
	国際環境修復保全学特論	2					
	国際環境修復保全学特別演習	2					
国際生物生産資源学	専門分野科目	地域生物機能利用学					2
		地域持続生物生産技術学					2
		生物資源循環利用学					2
		生物新機能開発学					2
	論文研究等	国際環境農学コミュニケーション演習					1
国際生物生産資源学特別研究		6					
国際生物生産資源学演習		4					
国際環境農学課題別演習		1					
国際環境農学国内外実習		2					
副専攻科目	国際生物生産資源学特論	2					
	国際生物生産資源学特別演習	2					

別紙様式1 省略（現行どおり）

附 則（24農教規則第1号）

- この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 平成24年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程については、施行後の規定にかかわらず、なお従前の例による。